

平成25年11月14日

海老名市長 内野 優 様
海老名市教育委員長 海野恵子 様

図書館友の会全国連絡会 代表 福富洋一郎

海老名市立図書館の指定管理者の選定について陳情

私たちは、公立図書館が「地域の知の拠点」として発展することを願い、全国各地で活動する市民団体・個人の連絡組織です。

神奈川新聞（11月13日第1面）によると、海老名市立図書館は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ社（CCC）と図書館流通センター（TRC）でつくる共同運営体と指定管理者として交渉しているが、その内容は公表しないとされています。CCCは今年の4月に、佐賀県の武雄市図書館の運営を開始して注目を集めている会社です。

しかし、私たちはこの武雄市の事例は、マスコミ報道だけでなく、武雄市民から状況を聞くと、公立図書館の振興・発展ばかりでなく地方自治のあり方にとっても、大きな問題・課題があると深く憂慮し、7月7日に別紙の通り「**武雄市図書館の民間会社による管理・運営に関する声明書**」を公表しました。私たちは、声明書で指摘した6つの問題点・課題について、海老名市が指定管理者を選定するときに参考にして頂きたい、また海老名市民にも情報をお伝えいたしたく陳情するものです。

特に、リニューアルした武雄市図書館は、図書館法令に基づく市立図書館と言うより「読書アミューズメント」「公共施設カフェ」「マガジンカフェ」とも言うべき施設ではないでしょうか。また、武雄市のように情報公開や市民参加が不十分なやり方で、公立図書館の指定管理者を決めることにならないように陳情します。

武雄市のケースと比較し、海老名市はどのように違っているか、または同じなのか、声明書の6項目に対応した回答を11月末日までをお願いします。

以上

【連絡先】 福富洋一郎

※本リリースに記載されている住所等連絡先は、ネット掲載分は個人情報保護の観点から伏せていただきます。お問い合わせは[図友連事務局](#)まで。

【参考】 「図書館友の会全国連絡会」のホームページ <http://totomoren.net/>